

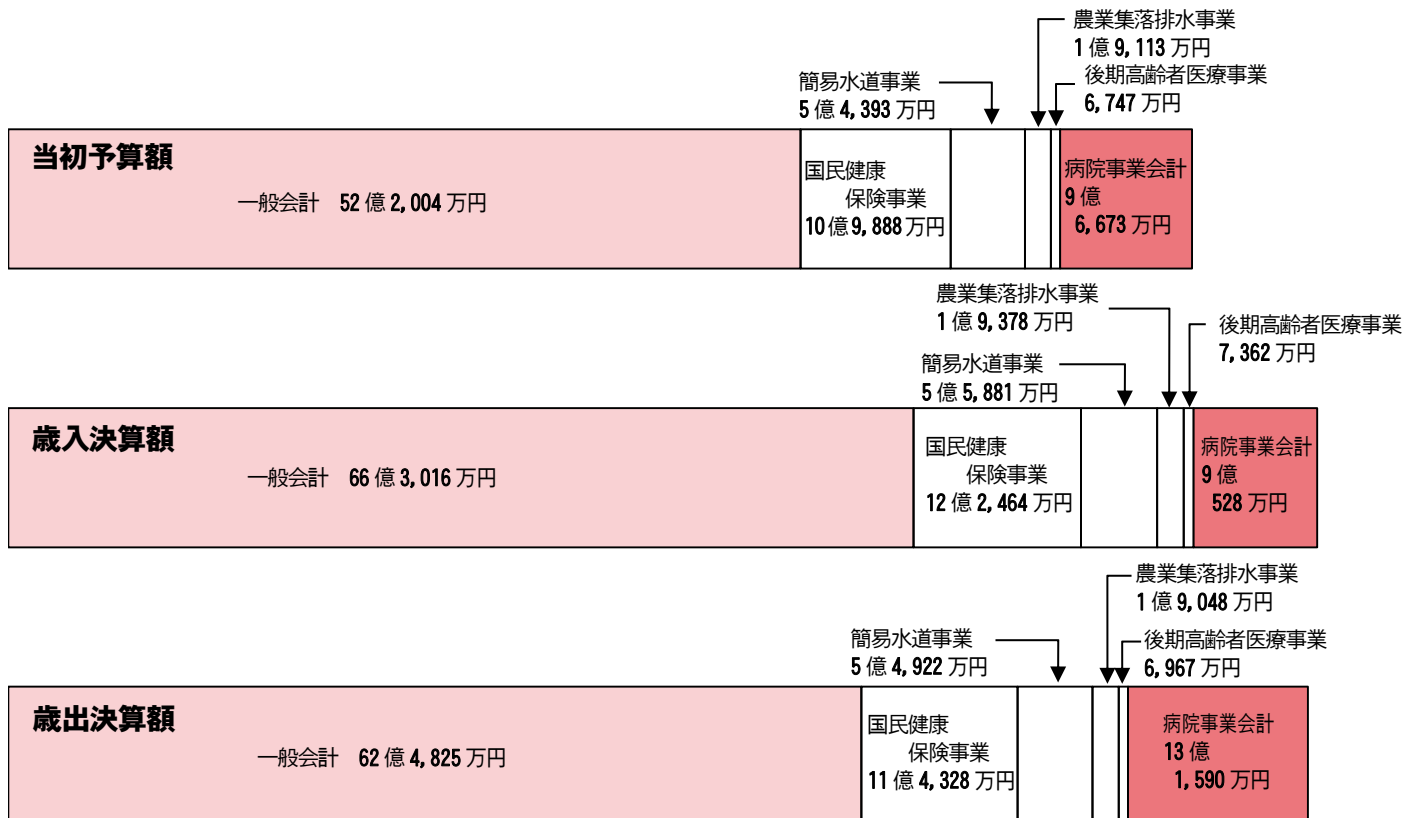
平成26年度 まちの 決算 の状況

■歳入歳出決算額

平成26年度の町の決算総額は、歳入総額95億8,629万円に対し、歳出総額95億1,680万円で、歳入歳出差引額は6,949万円（実質収支等は491万円）となっています。

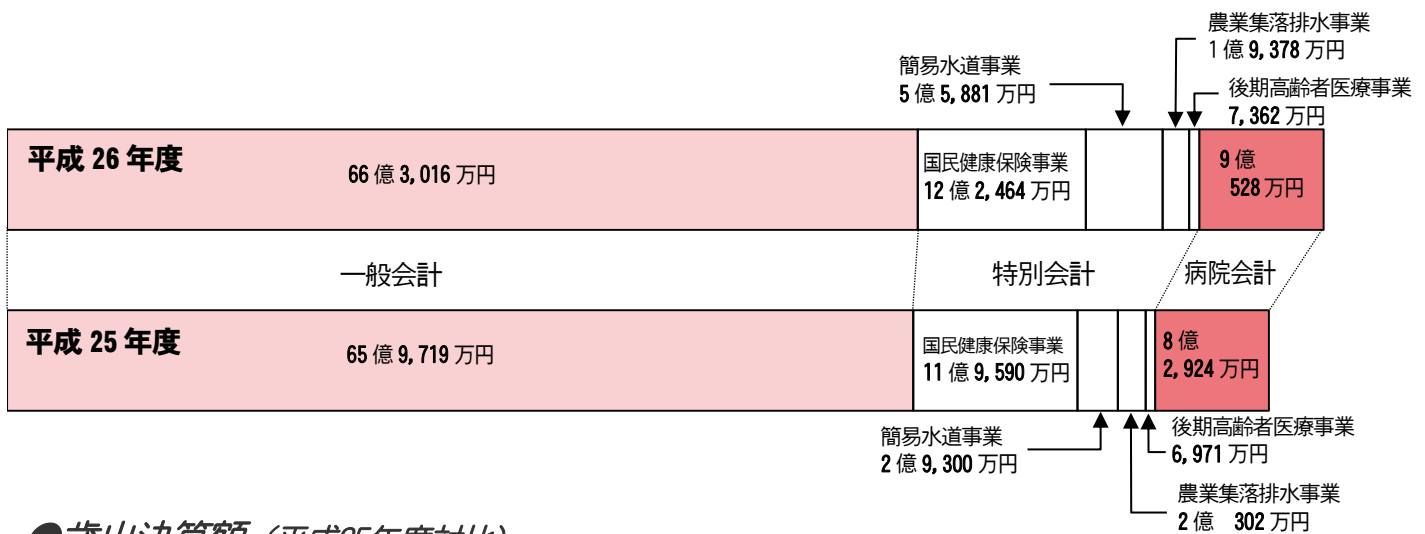
また、歳入総額を前年度と比較すると、3億9,823万円（4.3%）の増、歳出総額を前年度と比較すると、8億3,160万円（9.6%）の増となっています。

会 計 名	平成26年度 当初予算額	平成26年度 歳入決算額	平成26年度 歳出決算額	歳入歳出差引額	
一 般 会 計	52億2,004万円	66億3,016万円	62億4,825万円	3億8,191万円	
特 別 会 計	国民健康保険事業勘定	10億9,888万円	12億2,464万円	11億4,328万円	8,136万円
	簡易水道事業	5億4,393万円	5億5,881万円	5億4,922万円	959万円
	農業集落排水事業	1億9,113万円	1億9,378万円	1億9,048万円	330万円
	後期高齢者医療事業	6,747万円	7,362万円	6,967万円	395万円
国民健康保険病院事業会計	9億6,673万円	9億 528万円	13億1,590円	▲ 4億1,062万円	
合 計	80億8,818万円	95億8,629万円	95億1,680万円	6,949万円	



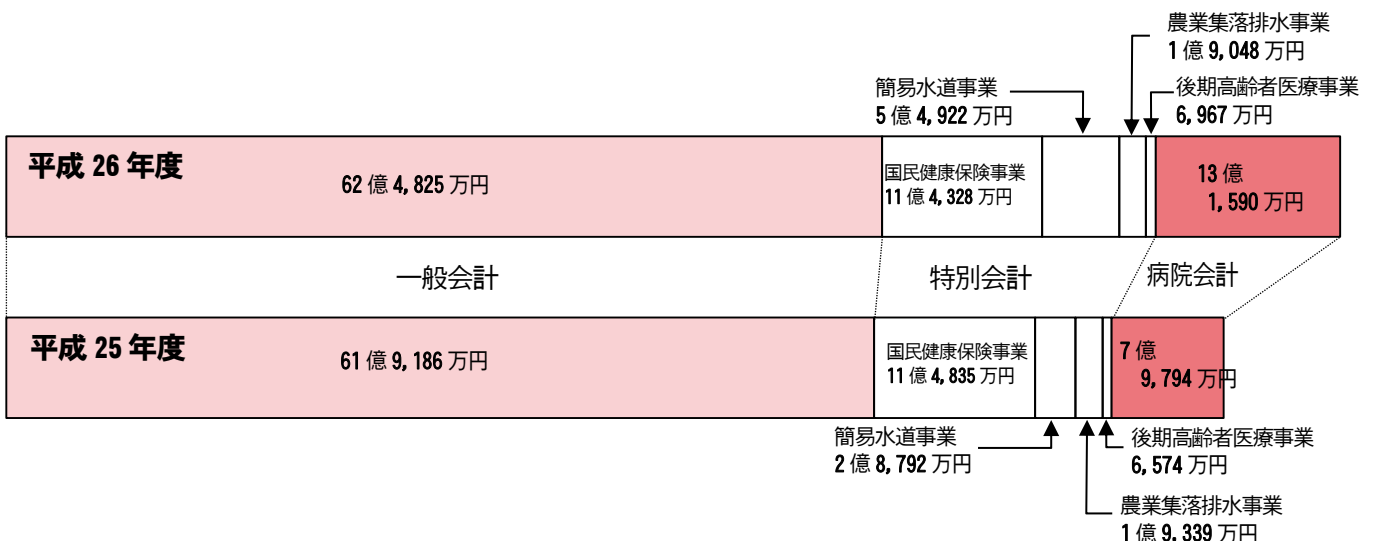
●歳入決算額 (平成25年度対比)

会計名	平成26年度	平成25年度	増減額(伸率)	
一般会計	66億3,016万円	65億9,719万円	3,297万円(0.5%)	
特別会計	国民健康保険事業勘定	12億2,464万円	11億9,590万円	2,874万円(2.4%)
	簡易水道事業	5億5,881万円	2億9,300万円	2億6,581万円(90.7%)
	農業集落排水事業	1億9,378万円	2億302万円	▲924万円(▲4.6%)
	後期高齢者医療事業	7,362万円	6,971万円	391万円(5.6%)
国民健康保険病院事業会計	9億528万円	8億2,924万円	7,604万円(9.2%)	
合計	95億8,629万円	91億8,806万円	3億9,823万円(4.3%)	



●歳出決算額 (平成25年度対比)

会計名	平成26年度	平成25年度	増減額(伸率)	
一般会計	62億4,825万円	61億9,186万円	5,639万円(0.9%)	
特別会計	国民健康保険事業勘定	11億4,328万円	11億4,835万円	▲507万円(▲0.4%)
	簡易水道事業	5億4,922万円	2億8,792万円	2億6,130万円(90.8%)
	農業集落排水事業	1億9,048万円	1億9,339万円	▲291万円(▲1.5%)
	後期高齢者医療事業	6,967万円	6,574万円	393万円(6.0%)
国民健康保険病院事業会計	13億1,590万円	7億9,794万円	5億1,796万円(64.9%)	
合計	95億1,680万円	86億8,520万円	8億3,160万円(9.6%)	

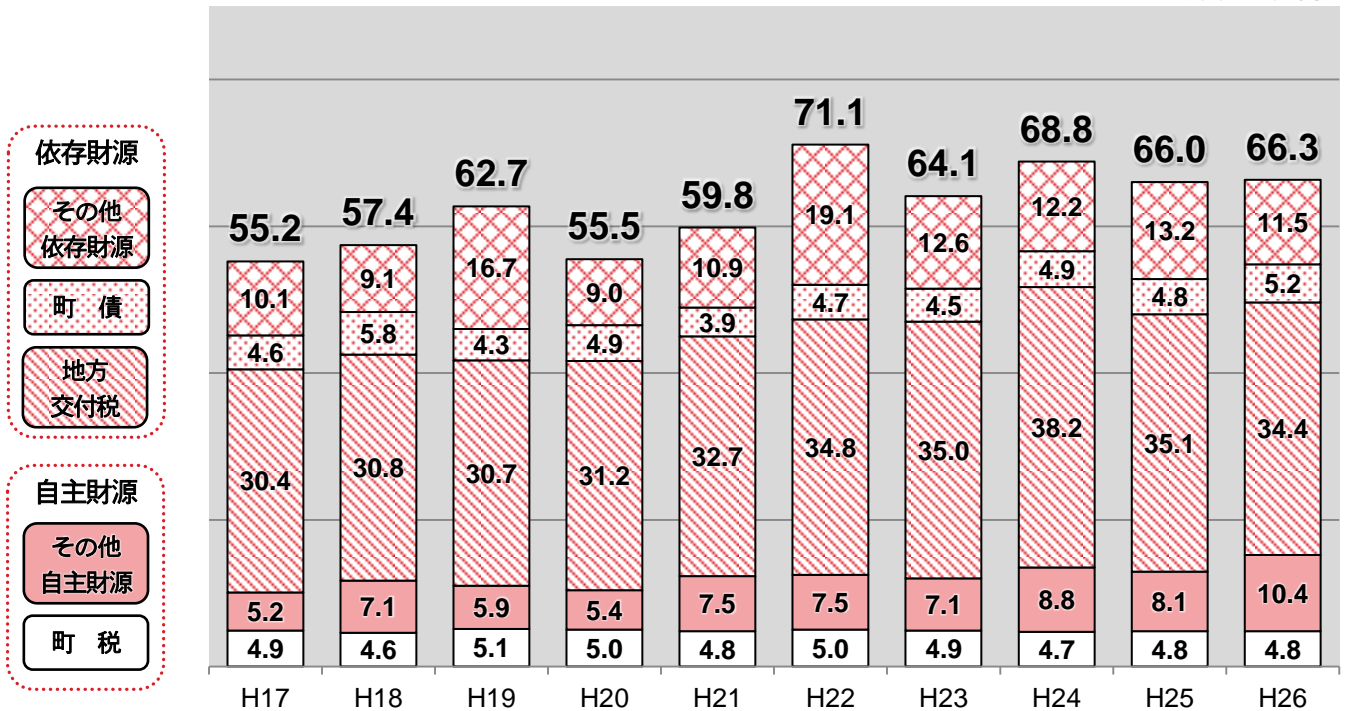


■一般会計歳入歳出決算額の推移

平成26年度の町の一般会計決算額は、歳入が66億3,016万円（前年度比3,297万円、0.5%増）、歳出が62億4,825万円（前年度比5,639万円、0.9%増）となり、歳入歳出差引額は3億8,191万円（前年度比2,342万円、5.8%減）の黒字となっています。

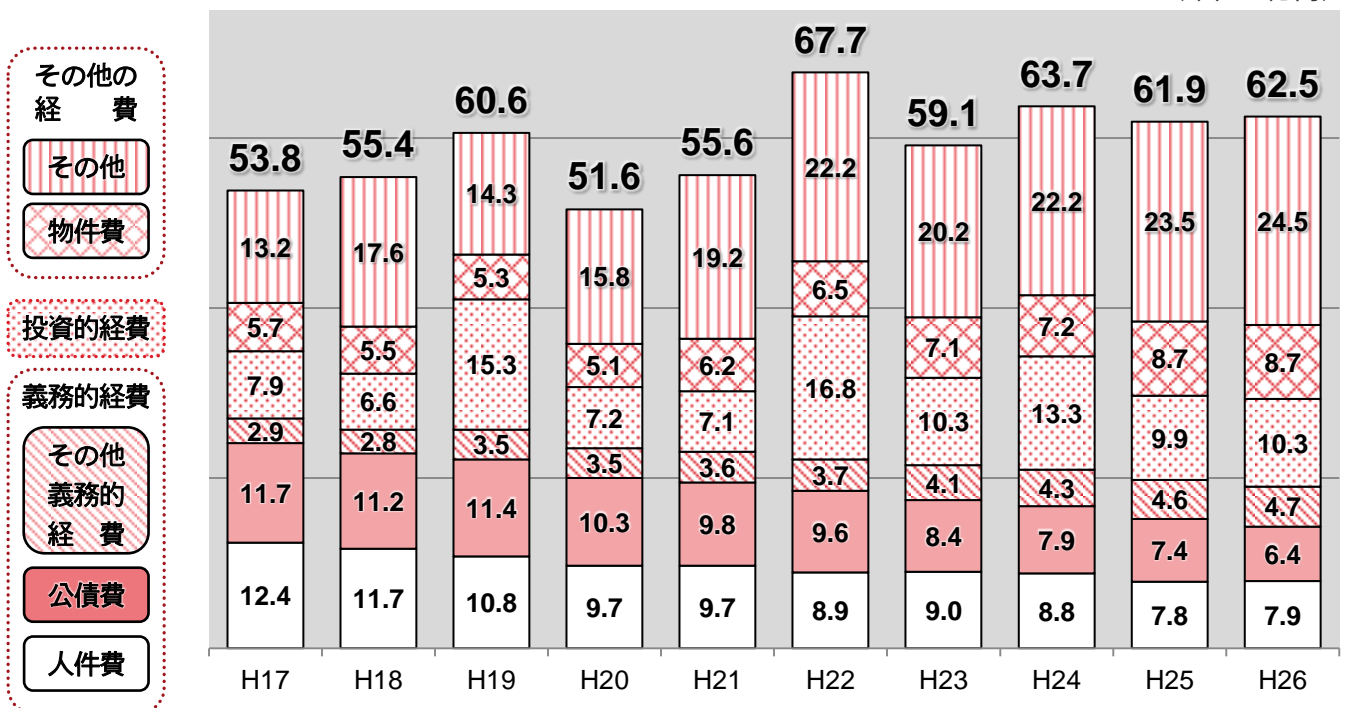
●歳入決算額の推移

（単位：億円）



●歳出決算額の推移

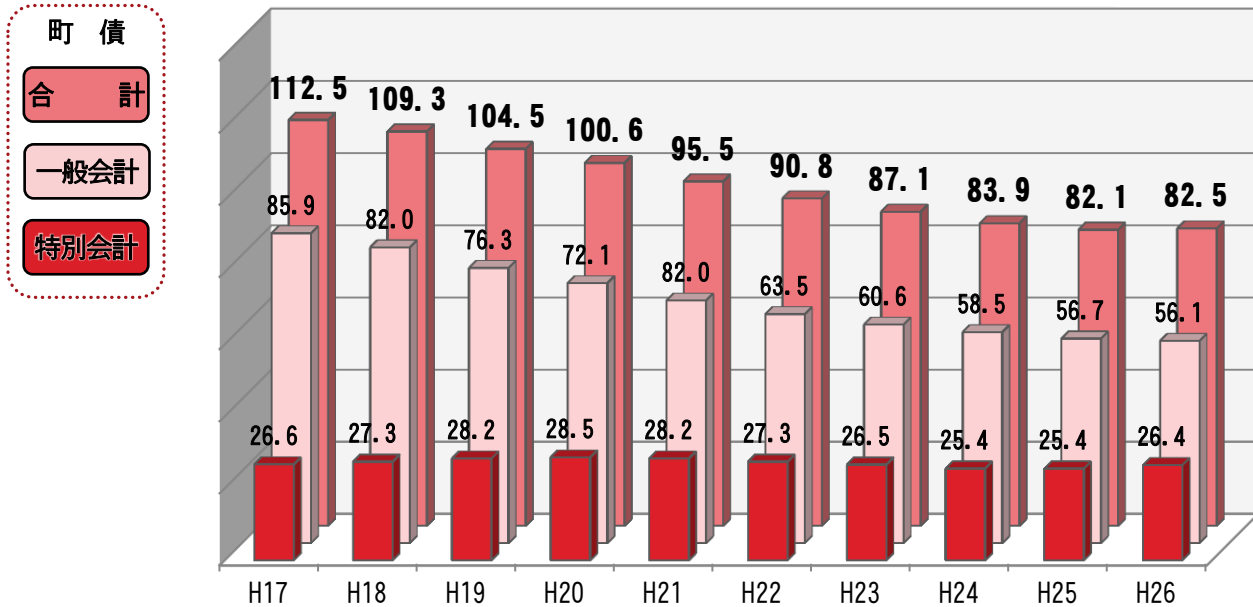
（単位：億円）



■町債現在高の推移

町の借金である町債残高の推移を表したグラフです。特別会計の残高は増加していますが、一般会計では平成25年度に比べ5,531万円（1.0%）の減、平成17年度と比べると30億118万円（26.7%）の減となり、町債借入残高を削減する取り組みの成果が表れています。

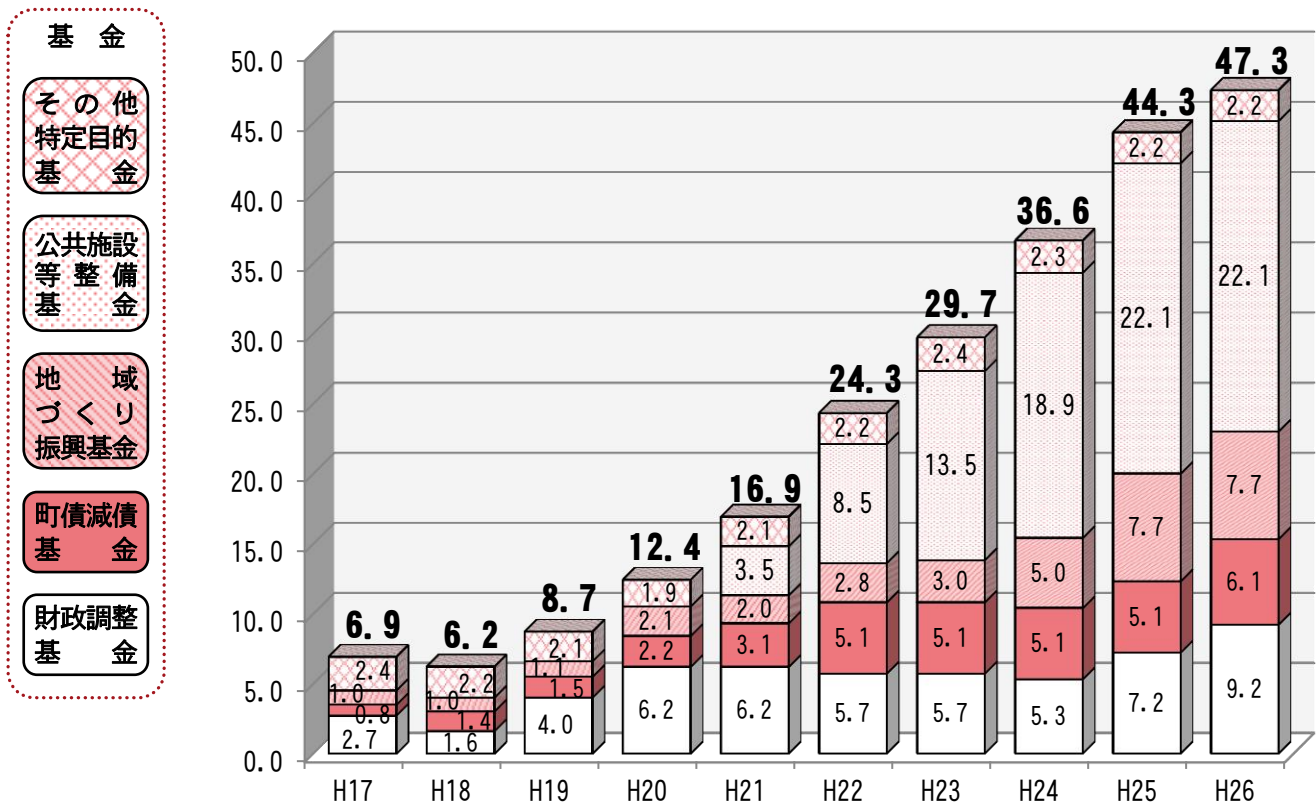
（単位：億円）



■基金残高の推移

町の貯金である基金の平成26年度末の残高総額は47億3,047万円で、前年度に比較して2億9,653万円（6.7%）の増となりました。積み立てた基金は、今後増大が見込まれる老朽化した公共施設や各種インフラの修繕、更新などの費用に充てられる予定です。

（単位：億円）



■まちの財政の状況

●財政指標

	平成26年度 決算 A	平成25年度 決算 B	差 引 (A - B)	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	15.0 %	20.0 %
連結実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	20.0 %	40.0 %
実質公債費比率	6.4 %	7.8 %	▲ 1.4	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	-	-	-	350.0 %	
財政力指数	0.14	0.14	-		
経常収支比率	83.1 %	82.1 %	1.0		

■実質赤字比率

一般会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の解消を図る必要があります。

町の平成26年度一般会計における実質赤字額は生じていませんので、実質赤字比率はありません。

■連結実質赤字比率

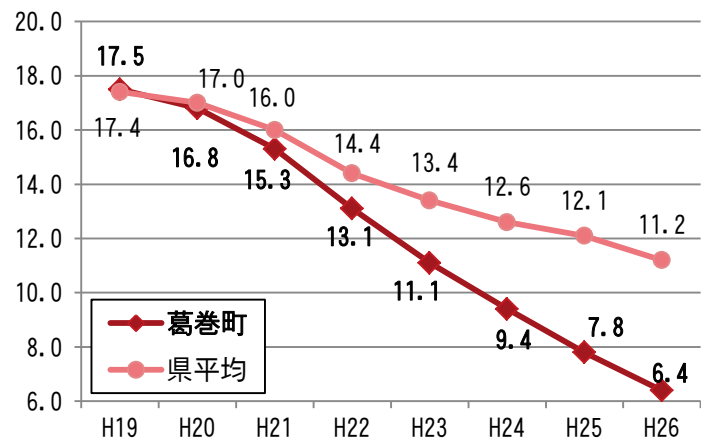
特別会計などを含め全ての会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。連結実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の早期解消を図る必要があります。

町の平成26年度決算において、いずれの会計とも実質赤字額は生じていませんので、連結実質赤字比率はありません。

■実質公債費比率

借入金の返済額とこれに準じる額の大きさを指標化して、資金繰りの危険度を示す比率です。実質公債費比率の早期健全化基準は25%ですが、18%を超えると町債の借入れに対して都道府県からの許可が必要となります。

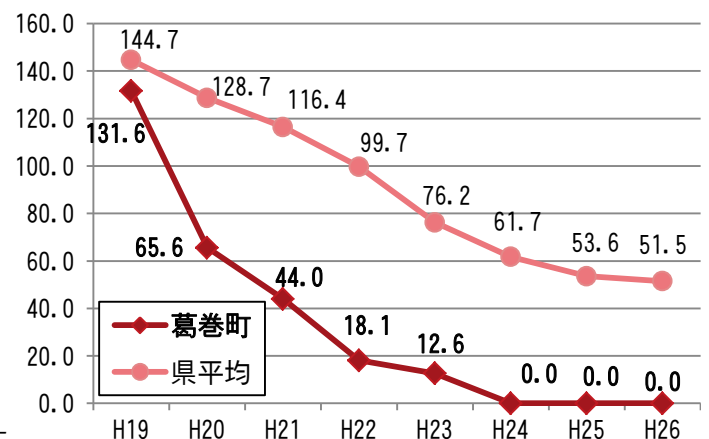
町の平成26年度における実質公債費比率は6.4%で、前年度と比較して1.4ポイント改善しています。



■将来負担比率

一般会計における将来負担見込額（借入金の残高、公益企業の借入金の繰入見込額、退職手当負担見込額、第三セクターの負債額等）を指標化して、将来の財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す比率です。

町の平成26年度における将来負担比率は前年度に引き続き、比率なし（0%）となりました。



■財政力指数

財政力（※1）の過去3カ年間の平均値をいい、財政力を示す指数として用いられる数値で、財政力指数が「1」に近いほど財政力が強いとみることができます。

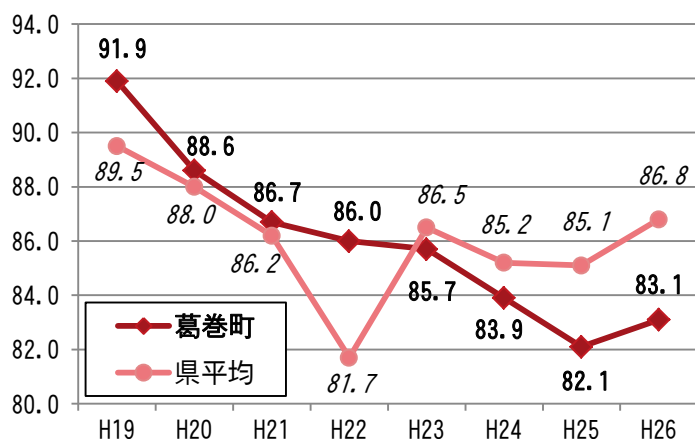
町の平成26年度の財政力指数は0.14で、前年度と同値となりました。

- ※1 財政力 … 基準財政収入額（※2）の基準財政需要額（※3）に対する割合
- ※2 基準財政収入額 … 通常標準的に徴収しうるのであらうと考えられる税収入
- ※3 基準財政需要額 … 合理的で妥当な水準で行政活動を行っていくために必要な財政需要

■経常収支比率

使い道が特定されていない経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように経常的に支出される経費に割り当てられる財源の比率で、この比率が低くなるほど財政構造が弾力的であることを示しています。

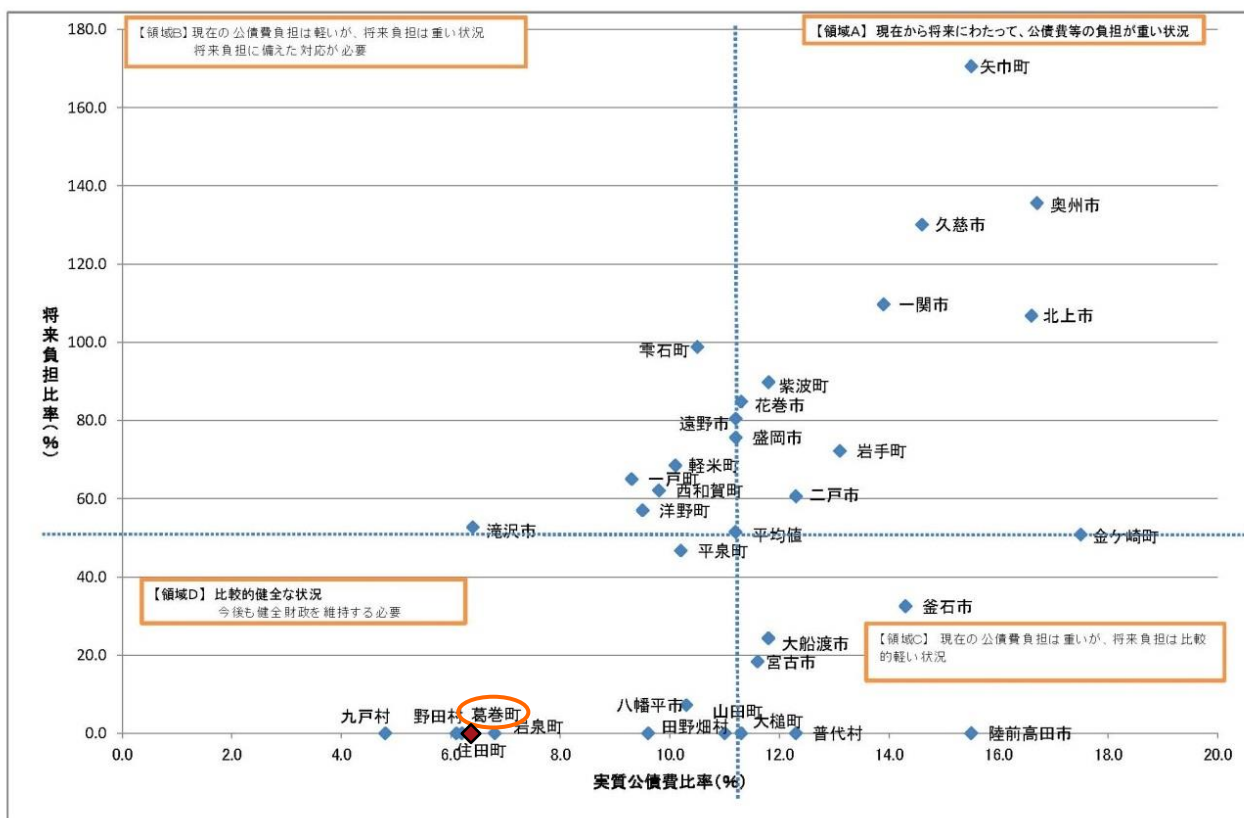
町の平成26年度の経常収支比率は83.1%で、前年度と比較して1.0ポイント増加しています。



●平成26年度財政分析指標クロス表

市町村の財政運営が健全であるかを分析するために、平成26年度の実質公債費比率と将来負担比率を合わせて表にすると次のようになります。

当町は実質公債費比率、将来負担比率ともに低い「領域D」に分布しており、現状では比較的健全な財政状況であると言えます。



■一部事務組合及び第三セクターの状況（平成26年度）

●関係する一部事務組合等の財政状況

（単位：百万円）

	歳入	歳出	形式収支	実質収支
盛岡地区広域行政事務組合	5,407	5,389	18	17
盛岡北部行政事務組合	6,370	6,252	118	118
岩手県市町村総合事務組合	13,175	12,912	263	263
岩手県自治会館管理組合	78	75	3	3
岩手県後期高齢者医療広域連合	152,424	147,659	4,765	4,765

形式収支…歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた額

実質収支…形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源額を差し引いた額

●第三セクター等の経営状況及び町の財政支援の状況

（単位：百万円）

	経常損益	純資産	町からの 出資金	町からの 運営費補助	町の損失 補償債務 高
(一社) 葛巻町畜産開発公社	▲ 23	318	189	-	361
葛巻高原食品加工(株)	14	227	40	-	40
(株) グリーンテージくずまき	5	21	20	-	-
エコ・ワールドくずまき風力発電所(株)	5	▲ 174	3	-	-
葛巻町森林組合	1	117	27	-	50

経常損益…営業収益と営業外収益から、営業費用と営業外費用を差し引いた額。

損失補償…第三セクターが金融機関から融資を受ける場合に、出資している地方公共団体が融資を行う金融機関と損失補償契約を結ぶこと。